

2013年3月11日

環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 松行 美帆子

カンボジア国 国道5号線(南区間)改修事業(協力準備調査(有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・ 日時:2013年2月1日(金)14:00～16:46
- ・ 場所:JICA 本部(111 会議室)
- ・ ワーキンググループ委員:松行委員、石田委員、谷本委員、二宮委員、
松下委員、米田委員
- ・ 議題:カンボジア国 国道5号線(南区間)改修事業(協力準備調査)に係る
スコーピング案についての助言案作成
- ・ 配付資料:
 - 1) 助言委員会ワーキンググループ事前配布資料(スコーピング案)
 - 2) 補足資料 別添1～3(全5ページ)
- ・ 適用ガイドライン:国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第34回委員会)

- ・ 日時:2013年3月1日(金)14:30～16:59
- ・ 場所:JICA 本部(229 会議室)

上記の会合に加え、メール審議により助言を確定した。

助言

全体事項

1. 中長期にわたる交通政策に言及したうえで、今回の事業が改修を主体とした内容となった背景と理由を最終報告書に明記すること。
2. 事前配布資料では、洪水から道路を守り往来を安全かつ高速にするという視点が強い。雨季の冠水や洪水による生物の移動・拡散・再生産、豊かな水を利用した農業をはじめとする生計活動などについて言及すること。
3. トンレサップ生物圏保存地域をはじめとした国道5号線に接続する他の道路周辺地域への環境および社会影響についても情報収集を行い、配慮すること。

代替案の検討について

4. 国道5号線(南区間)の代替案を比較評価する際の考え方を最終報告書に明示すること。
5. 案 DPWT-3 に南側の道路を追加し、バイパスとして機能させた代替案の可能性も検討すること。

スコーピング・マトリクスについて

6. 生態系(水域)については橋の改修や架け替えの影響も対象とすること。
7. 本事業の実施のための土取場及び砕石場の自然・社会環境への配慮をスコーピングマトリクスの中で検討すること。

環境配慮について

8. 希少動植物や絶滅危惧種のみが生態系を構成する種というわけではなく、それぞれの環境に適して多種多様な動植物が存在している。調査対象地域、スコーピングマトリクス、予測及び評価手法の基本方針での関連する記述を修正すること。
9. 雨季と乾季における生態系及び当該社会の自然資源利用の変化についても注意して調査すること。

社会配慮について

10. コミュニティの分断に対する影響の検討を行うこと。
11. 被影響住民の生活水準や収入機会の回復の対応策における非合法的居住者への配慮を最終報告書に明記すること。
12. イスラム教徒の居住地区が移転対象となる場合には、移転先のコミュニティやアクセス等に対する配慮を先方政府に求めること。

ステークホルダー協議について

13. 実施済みの第 1 回ステークホルダー協議について、参加者の属性、議事の内容、出された意見等を、より詳細に最終報告書に明示すること。
14. EIA 調査の結果がある程度明らかになった時点で、再度ステークホルダーにフィードバックし、意見を募って最終報告書に反映させること。

その他

15. プロジェクトが何らかの理由により長期にわたり、計画の変更はないものの周辺の社会環境等が変化してしまった際は、EIA の内容を再精査するよう先方政府に求めること。

以 上